

◆伝票番号を年度ごとに1番から開始する方法

(画面例『PCA 商魂・商管シリーズ バージョン DX』使用)

ここでは会社の会計期間に合わせて年度ごとに売上傳票の開始 No を1番から付番する方法をご説明します。入金、仕入、支払の各伝票 No の設定も同じ手順ですので、お読み替えてください。

【参考】

毎年、新年度の伝票を入力する前に「前準備」－「会社基本情報の登録」の「伝票 No 自動付番」タブの「開始 No」欄で各伝票の開始 No を1に変更することで対応も可能ですが、変更し忘れてしまう心配がある場合は、「付番方法・付番基準」にて設定しておくことをお勧めします。

【注意】

「伝票 No 自動付番」の「付番方法・付番基準」を設定・登録した後に入力する伝票から伝票 No の設定が反映されます。新年度や月初めの最初の伝票を登録する直前に設定することをお勧めします。既に登録済みの伝票の伝票 No は変更されません。

【操作手順】

■自動付番基準日を設定します。

- ① メニューの「前準備」－「会社基本情報の登録」を起動し、「基本情報」タブをクリックすると、以下のような画面が表示されます。

会社基本情報の登録

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 ヘルプ

会社情報(N):

コード	0001
会社名	(株) PCA商事
フリガナ	ピーシーエーシヤウジ
データ領域名	(株) PCA商事

更新履歴

企業情報 **基本情報** 桁数設定 消費税 項目名と敬称 伝票設定 連動入力 伝票入力制限 1 伝票入力制限 2 伝票No自動付番 計算式項目

日付設定(A):

使用する暦 西暦 和暦

伝票入力可能期間 2019年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日

伝票の西暦印字桁数 2桁 4桁

自動付番基準日 2019年 4月 1日

月次実績の締切日(B):

売上	<input type="radio"/> 5日締 <input type="radio"/> 10日締 <input type="radio"/> 15日締
	<input type="radio"/> 20日締 <input type="radio"/> 25日締 <input checked="" type="radio"/> 末締
仕入	<input type="radio"/> 5日締 <input type="radio"/> 10日締 <input type="radio"/> 15日締
	<input type="radio"/> 20日締 <input type="radio"/> 25日締 <input checked="" type="radio"/> 末締

原価の端数処理(D):

原価端数 0:得意先の金額端数

在庫情報(C):

在庫締切日 2017年 3月 31日

倉庫別在庫管理 する しない

在庫金額の評価方法

- 最終仕入原価法
- 総平均法
- 標準原価法
- 月次移動平均法

在庫金額計算時の円未満端数

- 切捨て
- 切上げ
- 四捨五入

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

② [自動付番基準日] 欄に自動付番の基準となる日付を入力します。

[自動付番基準日] とは [伝票 No 自動付番] タブの [付番方法] で [月別] [年度] を選択した場合に、「月度」と「年度」を判定するために使用します。通常は会計年度の開始日を入力します。

例) 基準日を 2019/4/1 と設定した場合

2019/4/1～2019/4/30 が 4 月度、2019/5/1～2019/5/31 が 5 月度と判断されます。

2019/4/1～2020/3/31 が 2019 年度、2020/4/1～2021/3/31 が 2020 年度と判断されます。

更新履歴

企業情報 基本情報 桁数設定 消費税 項目名と敬称 伝票設定 連動入力 伝票入力制限 1

日付設定 (A):

使用する暦	<input checked="" type="radio"/> 西暦 <input type="radio"/> 和暦
伝票入力可能期間	2019年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日
伝票の西暦印字桁数	<input type="radio"/> 2桁 <input checked="" type="radio"/> 4桁
自動付番基準日	<input checked="" type="checkbox"/> 2019年 4月 1日

■自動付番の方法を設定します。

③ [伝票 No 自動付番] タブをクリックします。

会社基本情報の登録

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 ヘルプ

会社情報 (N):

コード	0001
会社名	(株) PCA商事
フリガナ	ヒ〜シー〜エ〜ソウジ
データ領域名	(株) PCA商事

更新履歴

企業情報 基本情報 桁数設定 消費税 項目名と敬称 伝票設定 連動入力 伝票入力制限 1 伝票入力制限 2 伝票No自動付番 計算式項目

付番時期 (A):

伝票No入力時
 伝票登録時

重複伝票No (B):

売上伝票No	0:許可する
入金伝票No	0:許可する
仕入伝票No	0:許可する
支払伝票No	0:許可する

開始No (D):

見積No	417	注文No	489
受注No	89	手配No	4
売上伝票No	5518	仕入伝票No	13186
売上仮伝No	1	仕入契約No	1
売上契約No	13	支払伝票No	368
入金伝票No	479	出荷伝票No	39
		仮出荷管理No	7
		振替伝票No	8
		預り品管理No	7

付番方法・付番基準の選択 (C):

	付番方法	付番基準
売上伝票No	0:通番	0:なし
入金伝票No	0:通番	0:なし
仕入伝票No	0:通番	0:なし
支払伝票No	0:通番	0:なし

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

半角数字4桁で入力してください。

④ [付番時期] を [伝票登録時] に設定します。

[付番時期] が [伝票 No 入力時] のときは [付番方法・付番基準] を指定できません。

付番時期(A)	<input type="radio"/> 伝票No入力時
	<input checked="" type="radio"/> 伝票登録時

⑤ [付番方法・付番基準] を▼から選択します。

売上傳票 No の [付番方法] で [年度] を選択し、[付番基準] は初期値の [なし] に設定します。
 今回の例では年度ごとに1番から付番するように設定しておりますが、「月別部門別」や「年度別得意先別」「部門別通番」などの設定が可能です。

[付番方法] … [通番] [月別] [年度] が選択できます。

[付番基準] … [なし] [部門別] [得意先別] が選択できます。

※ [得意先別] は [売上傳票 No] のみに設定することができます。

更新履歴

企業情報 基本情報 桁数設定 消費税 項目名と敬称 伝票設定 連動入力 伝票入力制限1 伝票入力制限2 伝票No自動付番 計算式項目

付番時期(A)	<input type="radio"/> 伝票No入力時	
	<input checked="" type="radio"/> 伝票登録時	

重複伝票No(B):			開始No(D):			
売上傳票No	0:許可する	▼	見積No	417	注文No	489
入金伝票No	0:許可する	▼	受注No	89	手配No	4
仕入伝票No	0:許可する	▼	売上傳票No	設定...	仕入伝票No	13186
支払伝票No	0:許可する	▼	売上仮伝票No	1	仕入契約No	1
			売上契約No	13	支払伝票No	368
			入金伝票No	479	出荷伝票No	39
					仮出荷管理No	7
					振替伝票No	8
					預り品管理No	7

付番方法・付番基準の選択(C):		
	付番方法	付番基準
売上傳票No	2:年度	0:なし
入金伝票No	0:通番	0:なし
仕入伝票No	0:通番	0:なし
支払伝票No	0:通番	0:なし

【参 考】

[重複伝票 No] で売上・入金・仕入・支払のそれぞれの伝票 No の重複を許可する・しないの設定が可能です。[許可する] [許可しない] を▼から選択します。

重複伝票No(B):

売上傳票No	0:許可する	▼
入金伝票No	0:許可する	▼
仕入伝票No	0:許可する	▼
支払伝票No	0:許可する	▼

但し、[付番方法・付番基準] 内での設定になるので、重複を不可にしても、[付番方法・付番基準] が異なれば同じ伝票 No が使えます。

例 1) 付番方法が [年度] のとき、2019 年で「100 番」、2020 年で「100 番」が登録できます。

例 2) 付番基準が [部門別] のとき、A 部門で「100 番」、B 部門で「100 番」が登録できます。

- ⑥ ⑤までの項目の設定が終わりましたら「登録」ボタンをクリックします。
 ②で設定した基準日で判断した「年度」ごとに1番から伝票No付番がはじまります。

【注意】

⑤の「付番方法・付番基準」ごとの開始Noの初期値は必ず1番です。
 年度の途中で②の年度別に付番する設定を行った場合は、次に入力する伝票から1番が付番されます。

今までの続きの番号に設定したい場合は⑦に進んでその年度のみ開始Noの設定をしてください。

■1番以外の開始Noを設定します。

- ⑦ ⑤の売上傳票Noの「付番方法」で「年度」を選択すると、「開始No」の「売上傳票No」欄に「設定」ボタンが表示されますので、クリックします。

更新履歴
 企業情報 基本情報 桁数設定 消費税 項目名と敬称 伝票設定 連動入力 伝票入力制限1 伝票入力制限2 伝票No自動付番 計算式項目

付番時期(A) 伝票No入力時 伝票登録時

重複伝票No(B):
 売上傳票No 0:許可する
 入金伝票No 0:許可する
 仕入伝票No 0:許可する
 支払伝票No 0:許可する

開始No(D):

見積No	417	注文No	489
受注No	89	手配No	4
売上傳票No	設定...	仕入伝票No	13188
売上仮伝票No		仕入契約No	1
売上契約No	13	支払伝票No	368
入金伝票No	479	出荷伝票No	39
		仮出荷管理No	7
		振替伝票No	8
		預り品管理No	7

付番方法・付番基準の選択(C):

	付番方法	付番基準
売上傳票No	2:年度	0:なし
入金伝票No	0:通番	0:なし
仕入伝票No	0:通番	0:なし
支払伝票No	0:通番	0:なし

- ⑧ 以下のような画面が表示されますので、「表示条件」の「対象年度」に設定したい期間を入力し、「表示」ボタンをクリックします。

売上傳票No

ファイル(F) 編集(E) ヘルプ(H)
 開じる 登録 ヘルプ

表示条件

対象年度 2019年 ~ 2022年

年度	開始No

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

- ⑨ ⑧で設定した各年度と開始 No の初期値 1 が表示されますので、[開始 No] を設定します。
[対象年度] に設定していない年度に関しては表示されていないだけで、内部的には初期値の 1 番が設定されます。

例 1) 2019 年度の途中に「年度ごとに開始 No1 を付番する」設定にする場合
(2019 年のみ開始番号を今までの続きの番号に設定している例)

年度	開始No
2019年	5518
2020年	1
2021年	1
2022年	1

例 2) 2019 年の開始 No : 190001、2020 年の開始 No : 200001…と付番する場合

年度	開始No
2019年	190001
2020年	200001
2021年	210001
2022年	220001

- ⑩ 設定が終了したら「登録」ボタンをクリックします。
作業は以上となります。